

# 仙台・みどりの杜ビオトープ 第16回ビオトープ顕彰「審査委員長賞」受賞

## せんだい農業園芸センターみどりの杜

所在地/宮城県仙台市若林区 活動時期/2016年4月～現在継続中



「仙台・みどりの杜ビオトープ」全景



第16回ビオトープ顕彰にて「審査委員長賞」を受賞しました。



竣工後のビオトープ



夏になると蓮の蕾やガマの穂が上がってきます。



水温の上がる春は、水生植物が大きく成長します。

「せんだい農業園芸センターみどりの杜」は、2016年4月からPPP事業として仙台市との契約で事業運営しています。当地は、2011年の東日本大震災の津波により大きな被害を受け、一部機能不全になったことを機に民間活力の導入で公募となった案件です。当社としては、震災復興の意味からも積極的に参加し、採択されました。復興事業として機能不全の施設撤去等を行い、当社の設計施工で再整備を行いました。設計するにあたり、周辺環境及び被災地の特殊性等を考慮し、ビオトープを計画し、自然環境と人々が寄り添える「場」を創造しました。また、津波で絶滅の危機のあった井土メダカ(固有種)が復活・育成し、生物多様性の必要性を知る「場」としています。ビオトープ及び周辺環境を活用し、毎月自然観察会を継続開催し、多くの市民の方々に参加していただいています。



**活動の目的** 周辺環境及び被災地の特殊性等を考慮し、再整備の計画の中でビオトープを設けることとしました。ビオトープを通して自然の推移や生物多様性を知る・得る「場」の提供をすることや、「場」を活かしての自然観察会の開催などを通して情報発信することを活動の目的としています。

**取り組み・成果** 自然観察会は毎月1～2回の実施を継続して7年間開催しています。延べ500名程度の参加者を得て、1年に1回参加者による発表会を実施するとともに、レポートを毎回作成し蓄積しています。地域住民との協力や自然の回復が評価され、NPO法人日本ビオトープ協会が主催する第16回ビオトープ顕彰では「審査委員長賞」を受賞しました。

**今後の目標・課題** 今後も継続してビオトープを活かした自然観察会を開催していきます。活動を通じて、仙台全域の自然関連団体とのネットワークを広げるとともに、多くの方たちへ自然の大切さを知りえる機会を増やしていきます。



ビオトープの水生植物に興味津津な子ども



ビオトープ周辺で虫を探して遊ぶ子どもたち



定期的にかいぼり作業を行い、ビオトープの水質を保持しています。



ビオトープ維持のため、清掃も行っています。



地域の子どもたちを対象に自然観察会を行っています。



自然観察会には親子での参加も多く見られました。



「井土メダカ」(固有種)



園内の「豆田んぼ」にて水生生物探しの自然観察会を行いました。



自然観察会では、子どもたちにビオトープに関連する教室も行っています。